

「復興も、経済も、外交も。日本はまさにこれからが正念場ですね」(小泉)

小泉 この半年で、日本を取り巻く空気は変わりつつありますね。

安倍 政権復帰から6カ月余り。私たち自民党は様々な分野で実績を出し始めていますが、まだまだこれからです。

その中でもまず急ぐべきは、震災復興。進次郎さんも青年局「TEAM11」(チーム・イレブン)の活動で被災地の方々の声を聞いていますね。

小泉 はい。毎月11日、被災3県を回り、生の声を伺っています。

ひたすら現実を見て、聞いて、国会へ届けることが、地に足のついた政策を生み出すことになると思っています。総理も毎月必ず被災地に行かれていますね。

安倍 私が被災地で出会った農家の若い方は、「何でも自分次第、農業も頑張れば所得は増える」と言っていました。

「時計の針がようやく動き出した」という声も聞きました。そうした声に応え、ますます復興を加速させなければいけません。

小泉 そのためにも、日本経済が力を取り戻すことが必要です。

安倍 自民党は、大胆で次元の違う経済政策「三本の矢」を進めてきました。

デフレから脱却し、経済を成長させ、その実感を国民の皆さん手に届ける。そのためには、「この道しかない」と信じています。

成長戦略により、女性や若者が働きやすくチャレンジしやすい職場環境づくり、輸出産業もにらんだ農業の活性化、地域の特色を活かした観光立国推進、時代に合わない規制の改革など様々な政策を実現していきます。「強い経済」は、持続可能な社会保障のためにも必要です。

小泉 チャレンジできる社会こそが活力を生み出すということですね。

日々、予断を許さない「外交」についてはどうですか。

安倍 2月の訪米で緊密な日米同盟を復活させました。

また、これまで13カ国を訪問し、世界全体を視野に入れた戦略的な外交を行っています。日本をアピールするトップセールス外交も進めているところです。

小泉 「教育」についてはどうでしょう。未来を担う子供たちをどう育てていくべきでしょうか。

安倍 すべての子供たちが高い水準の学力と「いじめはいけない」というまっとうな規範意識を身につけられるよう、教育再生を断行します。

小泉 ところで、今回の参院選では初めて「ネット選挙」が解禁されましたね。

安倍 有権者がフェイスブックやホームページ、ブログなどで

様々な候補者の意見や情報にリアルタイムで触れられるようになったのはいいことです。

わが国が待ったなしの状況にあることも、きつと分かっていただけたでしょう。

しかし、これ以上「ねじれ国会」が続くようでは、「決める政治」ができません。せつかく動き出した日本の歩みが、国内でも国外でも、止まってしまいます。

小泉 正念場の日本をどうするのか。自分たちの未来をどう考えるのか。

今回の参議院選挙は、私たち若い世代が声を上げ、しっかりと自分の意思を示す大切な機会ですね。

「生活が変わったという実感を一人ひとりの手に届けるまで、歩みを止めるわけにはいきません」(安倍)

自由民主党 総裁 安倍晋三

自由民主党 青年局長 小泉進次郎

投票日は、7月21日(日)

選挙区は、候補者名。比例代表区は、自民党比例候補者名または自民党とお書きください。
※このピラは、街頭で配布したり、ポスティングするなど自由に配ることが法律で認められています。 参議院選挙・自由民主党届出ピラ②号

スマホで簡単ダウンロード!
自民党 (今がわかる公式アプリ)
自民NEWS